

梅ヶ島 山の声



第1号 平成25年6月発行
発行者 国土交通省 中部地方整備局
静岡河川事務所 梅ヶ島出張所
Tel:054-269-2003 Fax:054-269-2150
http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/

～ 梅ヶ島出張所通信 ～

コノハスックン

はじめまして

本年度より梅ヶ島出張所長として参りました佐々木と申します。出張所勤務は20年振りで不慣れな業務ではありますが、皆様に助けて頂きながら、地域のために精一杯頑張りたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

先日、埼玉県の方から「安倍峠へは車で行けるか？」と電話を頂きました。赴任間もない私は土地勘も乏しく即答できなかったため「調べて後ほど回答します」と受話器を置くなり、ホームページで「安倍峠」で検索し、林道「豊岡梅ヶ島線」の静岡県側は4月より通行可能で、山梨県側は通行止めであることを伝えました。すると、「梅ヶ島出張所の方なら詳しいと思い電話した。以前、ドライブに行った際に新緑と富士山の絶景に感動したので、娘達に是非勧めたい。ありがとう。」と感謝されました。

出張所の業務は、土石流から集落を守るために、砂防堰堤などの砂防施設の整備を行うことが主体ですが、この出張所通信「梅ヶ島 山の声」を通じて、工事情報とともに地域の情報なども発信していきたいと思っています。よろしくお願い致します。



6月は「土砂災害防止月間」です

青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害」を開催～6月1日(土)～

梅雨時にもかかわらず好天に恵まれる中、県内で砂防事業を行っている国土交通省、県、市などの機関の共催により、6月の土砂災害防止月間PRイベント「みんなで防ごう土砂災害」を青葉シンボルロードで開催しました。

静岡河川事務所は、「大谷山腹工のサンプル」や、「パネル展示」などを行い、参加者からは「安倍川上流でこのような事業が行われているとは知らなかった。頑張ってください。」と励まされるなど、土砂災害防止に関して市民の方々に関心を深めて頂けたと思っています。



「ロッキー」や「はれるん」もPRに貢献



最優秀賞 小学生の部(小6)



最優秀賞 中学生の部(中2)



ラジコンでパワーショベルを操作するんだよ

大谷崩で子供達が植樹体験を実施～5月25日(土)～

五月晴れの新緑深まる中、今年も一般住民や関係者など約70名の参加により、「大谷崩での植樹体験」が盛大に行われました。

この植樹体験は、大谷崩300年を契機に、「いのちの森づくり静岡青少年団を支援する会」が主催し、今年で6回目の開催になります。

当日は好天に恵まれ雄大な大谷崩を眺望でき、参加した子供達は自然の雄大さや厳しさを目の当たりにし、植樹による斜面对策の必要性を体感していました。



大きく育って、山を守ってね!



「梅ヶ島地域安全祈願祭」が開催されました～6月20日(木)～

台風4号の上陸が懸念される中、「梅ヶ島地域安全祈願祭」が滞りなく開催されました。この祈願祭は、急峻な山塊を抱く梅ヶ島地域の無事故無災害を祈念するため、梅ヶ島学区自治会連合会の主催により、毎年6月に開催されており、今年で7回目になります。

当日は、工事関係者をはじめ、町内会、消防団、駐在所、保育園、小中学校関係者等、約130名が参加し、地域の安全・防災に対する期待の大きさを痛感し、防災業務を担う一員として改めて身の引き締まる思いがしました。

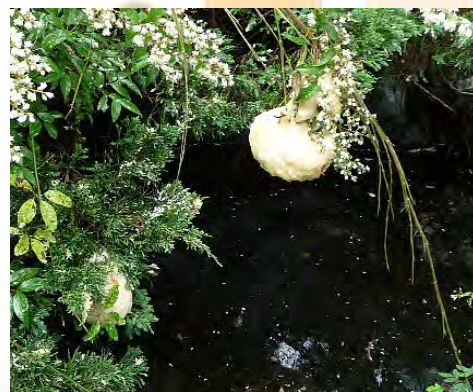


「玉串奉奠」の後、祝辞を述べる事務所長

出張所の池に「モリアオガエル」が産卵

出張所の池に覆いかぶさる木の枝に、モリアオガエルの卵塊が鈴なりに産卵されています。卵は約1週間ほどで孵化し、オタマジャクシは泡の塊の中で雨を待ち、雨で溶け崩れ水面へと落下します。その後、オタマジャクシは1ヶ月ほどで前後の足が生えてカエルとなって上陸し、しばらくは水辺で生活するが、やがて森林で生活するそうです。

近年、生息地の森林に人の手が入り、環境が変化したことでモリアオガエルも減っており、静岡県は準絶滅危惧種に指定して保護しています。したがって、出張所のある梅ヶ島新田地区は豊かな自然が残されていることをモリアオガエルが教えてくれていると思います。



モリアオガエルの卵塊が鈴なり

編集後記



6月22日に富士山が世界文化遺産に登録されることが決定しました。私事ですが、昨年まで世界遺産登録に向けた、静岡・山梨の両県での作業部会や県民会議に参加し活動しましたので大変感動しました。また、安倍川の土砂の最終到達点である「三保の松原」も構成資産に登録されこととなり、安倍川流砂系の総合土砂管理が適切に行われ、三保の松原周辺のコンクリートブロックが一日も早く撤去されることを願っています。

出張所通信「梅ヶ島 山の声」の創刊号は如何でしたかでしょうか。

皆様からの情報やご意見を募集しますので以下までお願い致します。

Tel:054-269-2003、http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiwase.html

